

幕張メッセで開催される3競技の概要

千葉県教育庁体育課

1 フェンシング

(1) 競技概要

競技はピストとよばれ、幅 1.8m 全長 14m (+予備域 6m) の電導性のパネルの上で行う。フルーレ、エペ、サーブルの3種目があり、使用する武器の形状や有効面(得点となるターゲット範囲)の違いなど、それぞれの種目により競技規則が異なる。

①フルーレ(有効面は胴体のみ)

フルーレは「攻撃権」を尊重する種目である。剣を持って向かい合った両選手のうち、先に腕を伸ばし剣先を相手に向けた方に「攻撃権」が生じる。相手がその剣を払ったり叩いたりして向けられた剣先を逸らせる、間合いを切って逃げ切るなどすると、「攻撃権」が消滅し、逆に相手が「攻撃権(すなわち反撃の権利)」を得る。このように、攻撃—防御—反撃—再反撃といった瞬時の技と動作の応酬(剣のやりとり)がこの種目の見どころになっている。

②エペ(有効面は全身)

エペの基本ルールは単純明快。全身すべてが有効面で、先に突いた方にポイントが入り、両者同時に突いた場合は双方のポイントとなる。ランプの点灯に注目していればどちらの選手がポイントを挙げたか判断できるので、最もわかりやすい種目と言える。前腕を狙っての攻防から一転、つま先への意表を突く攻め、あるいは機を見て思い切った接近戦に持ち込むなど、スピーディかつ変化に富んだ試合展開が見どころ。

③サーブル(有効面は上半身のみ)

ハンガリー騎兵隊の剣技から競技化した種目。フルーレとエペが「突き」だけの競技であるのに対し、サーブルには「斬り(カット)」と「突き」がある。ルールはフルーレと同様「攻撃権」に基づいているが、「斬り」の技が加わる分、よりダイナミックな攻防が見られる。

(2) 競技の発祥・成立、日本への導入

フェンシングの原形は中世の騎士たちによる剣技にあるとされている。その後、火器の発達でフェンシングは戦闘の手段としては大幅に後退したが、その繊細な剣のテクニックが多くの人に愛され、19世紀の末にはヨーロッパ各地で盛んに競技として行われるようになった。

競技スポーツとしてのフェンシングが日本に伝わったのは昭和7年。フランス留学から帰った故岩倉具清氏が持ち帰り、YMCAや慶應、法政の大学生に教えたのが

始まりとされている。

1940年（昭和15年）のオリンピックが東京で開催される事になり、この競技は一躍、全国組織の本格的スポーツに変身。戦争のためにこのオリンピックは中止となったが、戦後、大学生の間で急速に広まり、関東、関西で大学リーグ戦が行われた。

（3）競技人口

世界・・・国際フェンシング連盟加盟国（135カ国）

日本・・・約10,000人

（4）オリンピック種目

1896年アテネオリンピックから男子種目、1924年パリオリンピックより女子種目開催。

【現在の競技形式】

① 個人戦・・・3種目（フルーレ・エペ・サーブル）すべて実施（男女）

→競技方法 15ポイント先取のトーナメント制

② 団体戦・・・男女とも3種目中2種目実施

※2020東京オリンピックは、男子－エペ・サーブル 女子－フルーレ・サーブル

→競技方法 各国3名ずつの総当たり戦（9試合で45点先取のリレー方式）

（5）日本のオリンピック参加および主な成績

日本は、フェンシングがオリンピックで初めて開催された1896年アテネ大会から参加

【主な成績】

1964年	東京大会	男子フルーレ団体	4位
2008年	北京大会	男子フルーレ個人	銀メダル（太田雄貴）
		女子フルーレ個人	7位（菅原智恵子）
2012年	ロンドン大会	男子フルーレ団体	銀メダル
		女子フルーレ個人	7位（宮原智恵子）
		女子フルーレ団体	7位
		女子フルーレ個人	8位（池端花奈恵）

（6）県内のメダリスト及び2020年有望選手

○メダリスト

三宅 諒 2012年ロンドン大会男子フルーレ 団体銀メダル
（市川六中－慶應義塾高－慶應義塾大－セイコーHD）

○有望選手（平成26年度・27年度 千葉県オリンピック強化特別指定選手）
溝口 礼菜

2014年全国高等学校総合体育大会 エペ個人優勝

2015年アジアジュニア・カデ選手権 フルーレ個人3位・
団体優勝

2015年世界ジュニア・カデ選手権 フルーレ個人出場
（鎌ヶ谷二中ー県立柏陵高）

（7）県連盟の名称、所在地、今後の意向

（名称） 千葉県フェンシング協会

（所在地） 市川市須和田2-15-10（相田方）

（会長） 牧 勇次郎

（理事長） 相田 光康

○東京オリンピック・パラリンピックの幕張開催を受けて、今後の意向

- ・日本協会と協議しながら全面的な協力体制を作る。
- ・県内での事前合宿を積極的に招致したい。
- ・開催決定から開催に向けて、本県出身のオリンピック選手である三宅諒選手に協力をしてもらうなど、オリンピックへの機運を高めていくことも検討したい。
- ・本県選手がオリンピックに出場できるように、選手の強化体制を見直していくとともに、有効なサポート体制を作りたい。

2 レスリング

(1) 競技概要

直径9メートルの円形試合場で行う。試合時間は2分間3ピリオドで、ピリオド間のインターバルは30秒。各ピリオドに勝者が決定され、2つのピリオドを勝った選手が試合の勝者となる。ただし、フオール（相手の両肩をマットに1秒間つけること）が決まった場合は、どんなシチュエーションであってもフオールした選手が試合の勝者となる。

各ピリオドはポイントの多寡による判定等によって勝敗が決まる。ポイントは技ごとに1点、2点、3点、5点と分かれており、3審判(レフェリー、ジャッジ、チャーマン)のうち2審判の同意で決定される。

ただし、

- 1)6点差がついた時
- 2)5点の技を決めた時
- 3)3点の技を2度決めた時

はテクニカルフオールとなり、その段階でピリオドが終了する。

○グレコローマンスタイル

グレコローマンは上半身の攻防のみで戦うスタイル。脚を使って攻撃したり、守ったりすることは禁止されている。脚を取られる心配がないため、テークダウンを取るには、より難しさがある。胴へのタックルや、投げ技で活路を開くのが一般的。投げ技がきれいに決まれば、そのままフオールへ移行できる。

○フリースタイル

フリースタイル（男女）は、全身のどこを攻め、どこを使って守ってもいいルール。がちり構えた相手を倒す（テークダウン）のは難しく、相手を動かしてバランスを崩し、タックルで倒すのが一般的。まず相手のバックを取って動きを制し（1ポイント）、ここから次の技へ移行するのが一般的。

(2) 競技の発祥・成立、日本への導入

レスリングは1896年の第1回アテネ大会からオリンピック競技。1904年の第3回セントルイス大会ではフリースタイルだけが競技種目となったため、ウイーンでグレコローマン世界選手権が開催された。1912年には統一機関として国際レスリング連盟（FILA）が設立され、体重区分やルールが整備されて徐々に競技として成熟した。

1980年代に入ると、フランスや北欧で女子レスリングが行われるようになり、FILAは1983年に女子のレスリングを正式に認可。1985年にフランスで初めてFILA認定の国際大会が9階級で行われ、1987年には世界選手権を開催。1989年から毎年実施されている。

日本人で初めてオリンピックに参加したのは、1924年第8回パリ大会の内藤克俊選手。この時日本でレスリングは行われておらず、米国の大学に在学し日本代表として出場した。

日本にレスリングが「輸入」されたのは、1929年に早稲田大学柔道部が米国へ遠征し、ワシントン大学でレスリングと遭遇したことが発端。メンバーの1人、八田一朗がその魅力にとりつかれ、帰国後大学にレスリング部をつくり、普及に努めた。

(3) 競技人口

世界・・・約100万人といわれる。

国内・・・約9000人、

(4) オリンピック種目

○男子

第1回大会からオリンピック種目である。

【種目】フリースタイル：57kg級、65kg級、74kg級、86kg級、97kg級、125kg級

グレコローマンスタイル：59kg級、66kg級、75kg級、85kg級、98kg級、130kg級

○女子

2004年アテネ大会からオリンピック種目となる。

【種目】フリースタイル：48kg級、53kg級、58kg級、63kg級、69kg級、75kg級

(5) 日本のオリンピック参加及び主な成績

2012年ロンドンオリンピック終了時点で、金メダル28個、銀メダル17個、銅メダル17個、計62個を獲得している。これは体操95個 水泳85個 柔道72個に次ぐ4番目の獲得数となっている。

○ロンドンオリンピックメダリスト

松本隆太郎 グレコローマン 60キロ級 銅メダル

湯元進一 男子フリー 55キロ級 銅メダル

米満達弘 男子フリー 66キロ級 金メダル

小原日登美 女子フリー 48キロ級 金メダル

吉田沙保里 女子フリー 55キロ級 金メダル

伊調馨 女子フリー 63キロ級 金メダル

(6) 県内のメダリスト及び2020年有望選手

○県内のメダリスト

- ・永田克彦 シドニー五輪グレコローマン 69kg級銀メダル
東金市出身 県立成東高校卒業→日本体育大学卒業

- 有望選手（平成 26 年度・27 年度 千葉県オリンピック強化特別指定選手）
- ・宮原将裕 平成 26 年度国民体育大会第 1 位 大東文化大学在学
千葉県みつわ台中 県立京葉工業高校卒業

（7）県連盟の名称、所在地、今後の意向

（名称） 千葉県レスリング協会
（所在地） 284-0012
四街道市物井160
（会長） 磯貝 頼秀
（理事長） 齋藤 修

- 東京オリンピック・パラリンピックの幕張開催を受けて、今後の意向

- ・日本協会と協議しながら、全面的な協力体制を作る。
- ・本県選手がオリンピックに出場できるように、選手の強化体制を見直していくとともに、有効なサポート体制を作りたい。

千葉県で競技を始める選手は多いが、その後他県やJOCエリートアカデミーに活動拠点を移す選手が多く、県内で有望選手が育っていないのが現状である。例として、松戸市出身の女子選手は松戸ジュニアレスリングクラブから中学2年時にJOCエリートアカデミーに所属。昨年は、全国大会で三連覇を達成している。

3 テコンドー

(1) 競技概要

競技は8メートル四方のウレタン製のマット上で行う。

得点については、

(1) 青または赤色の胴プロテクター部分に拳または足による有効な攻撃に対し1点、有効な回し蹴りに対し2点(180度以上の回転蹴り)。

(2) 頭部は鎖骨より上部(両耳を含む顔全体及び後頭部)に足による有効な攻撃に対し3点、有効な回し蹴りに対し4点(180度以上の回転蹴り)。

競技時間は2分間の3ラウンドとし、各ラウンドの間に1分間の休憩を入れる。

3ラウンドの間に、有効な攻撃で得られた合計得点数により勝敗を決める。

主な勝敗は以下の通り。

- ① ノックアウトによる勝利
- ② レフェリーストップによる勝利(RSC)
- ③ 得点または優性による勝利

(2) 競技の発祥・成立、日本への導入

テコンドーは古くから朝鮮半島に伝わる武術が原形と言われている。テコンドーは手と足を使って行われるが、特に足技は多彩。

オリンピックで実施されているテコンドーは、1973年に世界テコンドー連盟(WTF)が創設されたことから始まり、現在WTFには160カ国以上が加盟しており、5000万人以上の人々が競技をする国際的なスポーツとなっている。

1988年第24回ソウル大会、1992年第25回バルセロナ大会で2度の公開競技となった後、2000年第27回シドニー大会から正式競技となり、2選手が出場、岡本依子選手が銅メダルを獲得。

(3) 競技人口

世界・・・7,000万人

日本・・・1万5千人

(4) オリンピック種目

1988年 WTF テコンドー、ソウルオリンピックで公開競技種目

1992年 WTF テコンドー、バルセロナオリンピックで公開競技種目

2000年 WTF テコンドー、シドニーオリンピックより正式競技種目

(5) 日本のオリンピック参加及び主な成績

- ・ 岡本依子：三段。シドニーオリンピック・女子67キロ級銅メダリスト。
シドニー～北京オリンピックまで3大会連続出場。
- ・ 笠原江梨香：2010年アジア競技大会・女子49キロ級銀メダリスト。

- ロンドンオリンピック・同級日本代表。
・濱田真由：ロンドンオリンピック・女子 57 キロ級 5 位。
2015 年世界テコンドー選手権大会・同級金メダリスト。

(6) 県内のメダリスト及び有望選手

- 県内メダリスト 無
○有望選手（平成 26 年度・27 年度 千葉県オリンピック強化特別指定選手）
東島 星夜 第 7 回全日本ジュニア大会第 1 位
ヨンソンテコンドー所属（船橋市） 江戸川区立篠崎中学校在学

(7) 県連盟の名称、所在地、今後の意向

- (名称) 千葉県テコンドー協会
(AJTA 一般社団法人日本テコンドー協会加盟)
(所在地) 〒264-0002 千葉市若葉区千城台東 3-24-8
(代表) 高木 伸幸

- 東京オリンピック・パラリンピックの幕張開催を受けて、今後の意向
・組織の整備と中央団体と連絡を密にし、準備をしたい。

※競技概要等は、JOC（日本オリンピック委員会）及びNF（中央競技団体）のHP等を参考に作成